

主催:医療機器フォーラム  
共催:日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会  
早稲田大学医療レギュラトリーサイエンス研究所

## 第 17 回 医療機器フォーラムプログラム

### 「生体由来材料を利用した組織再建技術の最前線」

2019 年 11 月 11 日(月)12:50~17:00

早稲田大学 小野記念講堂

東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 27 号館 地下 2 階  
(東京メトロ東西線 早稲田駅より徒歩 5 分)

### <概 要>

生体由来材料は、乾燥豚皮、コラーゲン、ゼラチン等、既に医療機器の材料として用いられてきた。一方、ヒト又はウシ、ブタ等の異種動物の組織を脱細胞化、凍結乾燥等の手法により加工した材料は、既存品と比較してより優れた創傷治癒促進効果又は組織再構築等の性能を有するため、革新的医療機器の基盤材料として期待されており、製品化を目指した開発研究が活発に進められている。また、既存の生体由来材料を従来と異なる形で加工し、組織の修復・機能回復効果等の新規機能を付与した医療機器の開発も行われている。

このような背景を考慮して、第 17 回医療機器フォーラムでは、脱細胞化組織の医療応用や、iPS 細胞を用いた骨組織再生技術等、新たな生体由来材料を利用した医療機器の研究開発の最新動向に関する情報を提供すると共に、先駆け審査指定を受けた製品を取り上げ、これらの医療機器に対する規制の考え方を紹介する。また、パネルディスカッションを通して、新たな生体由来材料を利用した医療機器を巡る現状と課題を産官学関係者で共有し、製品開発の更なる発展へと繋げたい。

< 演題名は仮題 >

12:50-13:00 開会の辞: 薮島由二(国立衛研)

13:00-13:20 生体由来材料の過去・現在・未来: 岸田晶夫(東京医科歯科大学)

13:20-13:50 前十字靭帯再建手術に用いる動物由来無細胞化腱の事業化: 岩崎清隆(早稲田大学)

13:50-14:20 iPS 細胞を用いた骨組織再生技術の開発: 江草 宏(東北大学)

\*\*\*\*\* (休憩、事務局による昨年度会計報告) \*\*\*\*\*

14:30-15:00 医療機器開発を加速する行政的施策: 中井清人(厚生労働省)

15:00-15:30 世界最小径人工血管の開発: 中山泰秀(バイオチューブ)

15:30-16:00 リン酸化プルランを用いた世界初の多目的接着性人工骨の開発: 吉田靖弘(北海道大学)

16:00-16:15 生体由来材料を利用した医療機器に対する薬事規制: 石井健介(PMDA)

\*\*\*\*\* (休憩 ステージ設営) \*\*\*\*\*

16:20-16:50 総合討論: 座長/岸田晶夫(東京医科歯科大学)

16:50-17:00 閉会の辞: 堤 定美(金沢工業大学)

**<申込先>**

医療機器フォーラムホームページ(URL:照会先欄参照)からお申し込み下さい。なお、会場の関係上、150名で申込を終了させていただきます。(登録〆切予定日:11月5日)

**<取材受付>**

原則として、未登録の当日取材はお断りしますので、必ず事前に以下の照会先へご連絡の上、登録をお願い致します。

**<照会先>**

〒210-9501 川崎市川崎区殿町 3-25-26 国立医薬品食品衛生研究所医療機器部 医療機器フォーラム事務局  
葩島由二 E-mail:iryokiki@nihs.go.jp (Tel 044-270-6540 直通)  
医療機器フォーラムホームページ: <http://dmd.nihs.go.jp/iryokiki/>

**<参加費>**

当日支払のみ: 一般 5,000 円, 官学 3,000 円, 学生及び早稲田大学教職員 無料  
無料の方も事前登録が必要です。受付時に学生証、教職員証を提示して下さい。



\* 演題は変更される可能性があります